

## コミュニケーションデザイン科目について

### ■教育プログラムの目的

コミュニケーションデザイン・センターでは、大阪大学の教育目標の一つである「デザイン力」を育成すべく、全学の大学院生を主たる対象としたコミュニケーション教育と高度教養教育をおこなうために、コミュニケーションデザイン科目を開講しています。コミュニケーションデザイン科目は、広い視野と確かな社会的判断力をもって、非専門家である市民と十分なコミュニケーションをとりながら研究が進められるような資質の育成を目的としています。また、研究現場でのコミュニケーション能力（特にフィールド・リサーチ）の育成についても力を入れています。

### ■授業担当教員

コミュニケーションデザイン科目は、コミュニケーションデザイン・センター所属の専任教員及び特任教員、その他学内関連部局の教員が担当します。

### ■授業場所

授業場所は授業科目によって異なり、豊中キャンパス、吹田キャンパス、箕面キャンパス及び中之島センターのいくつかの研究科等の講義室等で行います。

### ■各研究科でのコミュニケーションデザイン科目の取り扱いについて

修得した単位が所属する研究科の修了要件に含まれるか否かについては、事前に所属研究科の大学院担当係にお問い合わせください。

### ■履修手続方法

具体的な履修手続方法については、別途C S C D発行の「履修ガイドブック・シラバス」又はC S C Dウェブサイト<URL : <http://www.cscd.osaka-u.ac.jp/>>を参照してください。

### 授業科目一覧

#### 第1学期

授業科目名	単位数	曜日・時限	受講人数	開講キャンパス等
対話技法論Ⅰ	2	隔月・4,5	10	豊中
セーフティネット論	2	隔月・6,7	15	豊中
医療人類学	2	隔月・6,7	15	豊中
まち・みちづくり特論Ⅰ	2	隔月6,7限など	12	豊中
科学技術とコミュニケーション	2	火・4	50	豊中
臨床コミュニケーション	2	火・5	50	吹田
多文化サポート概論Ⅰ	2	火・5	50	箕面
リノベーションまちづくりデザイン	2	火・5	20	吹田
コミュニケーションデザインのいろは	2	隔火・6,7	40	豊中
文化資源学入門	2	水・5	15	豊中
科学技術イノベーション政策概論	2	隔水・5,6	30	豊中
パフォーマンスアートの世界	2	木・3	40	豊中
科学技術社会論基礎	2	木・4	50	豊中
ヒューマンコミュニケーション	2	木・5	50	豊中
認知症コミュニケーションA	2	隔木・6,7	30	豊中
民族誌学	2	隔木・6,7	10	豊中
私と世界の遠近法	2	金・2	30	豊中
思考の活動とメディアⅠ	2	金・3	10	豊中
文理融合創造ゼミナール	4	KOAN 参照	25	中之島

#### 第2学期

授業科目名	単位数	曜日・時限	受講人数	開講キャンパス等
対話技法論Ⅱ	2	隔月・4,5	10	豊中
まち・みちづくり概論	2	月・2	15	吹田
科学技術とコミュニケーション	2	火・5	50	吹田
多文化サポート概論Ⅱ	2	火・5	50	箕面

世界観の歴史	2	火・6	15	豊中
アート・アーカイブズ概論	2	月・6	30	豊中
コミュニケーションデザインのいろは	2	隔火・6,7	40	吹田
文学と社会	2	水・5	15	豊中
科学技術と社会特論	2	隔水・5,6	30	豊中
パフォーマンスアートの世界	2	木・3	40	豊中
Global Threats and Sustainability	2	木・3	40	吹田
放送のプロフェッショナルと社会を考える	2	第2第4木・5,6	100	豊中
認知症コミュニケーションB	2	隔木・6,7	30	豊中
市民のための世界史S	2	隔木・6,7	50	豊中
思考の活動とメディアII	2	金・3	10	豊中
文理融合創造ゼミナール	4	KOAN 参照	25	中之島

#### 集中講義

授業科目名	単位数	曜日・時限	受講人数	開講キャンパス等
科学技術コミュニケーションの理論と実践	2	1学期・未定	20	豊中
身体コミュニケーション	2	2月	20	豊中
医療対人関係論	2	8/3~8/5 (1~5限)	40	吹田
支縁コミュニケーション	2	2学期・未定	10	豊中・学外
アート・プロジェクト入門 I	4	4/6 豊中, 4/8 吹田説明会	24	豊中
アート・プロジェクト入門 II	4	4/6 豊中, 4/8 吹田説明会	24	豊中
まち・みち交流実践論	2	1学期・未定	8	KOAN
まち・みちづくり演習 I	2	5月	20	KOAN
まち・みちづくり演習 II	2	9月	20	KOAN
まち・みちづくり特論 II	2	11月	10	KOAN
まち・みちづくり特論 III	2	1月	10	KOAN
Frontier of Sustainability Science	2	1学期・未定	30	吹田
サウンド・オブ・ミュージック	2	4月, 9月の第2週	20	豊中
アート・プロデュース論演習	2	4-6月	15	豊中他

\*開講日程その他詳細については、KOANのシラバス、CSCD発行の「履修ガイドブック・シラバス」を参照してください。

(注) 平成25年度まで開講していました「メディア技法と表現リテラシー」は平成26年度より「コミュニケーションデザインのいろは」に名称変更しましたので、平成25年度以前入学者で「メディア技法と表現リテラシー」の履修希望者は平成26年度より「コミュニケーションデザインのいろは」を履修してください。

#### 高度副プログラム (コミュニケーションデザイン)

■ CSCDは、平成20年度から高度副プログラム制度に参加しています。これは大学院生および6年制課程の学部5、6年次生を対象に、これまでの専攻に加えて、幅広い分野の素養と高度な専門性を獲得する機会を提供するものです。複数の専門を持つことにより多面的なものの見方や考え方を身に付け、社会のオピニオンリーダーとして活躍してもらうことが狙いです。「コミュニケーションデザイン」という高度副プログラムは、文系、理工系、医科学系の大学院生の混成による教育を基本とし、異なる専門性のあいだの相互理解、自らの専門性特質の自覚、一般社会との双方向コミュニケーション回路設計技術等の獲得を目指しています。授業には、インタラクティブな講義や実習、各種ワークショップ形式を組み込み、座学による知識の習得とは異なる観点からの教育を行います。所定の単位を取得した学生には高度副プログラム修了証が授与されます。

■ 高度副プログラム (コミュニケーションデザイン) の詳細については、「履修ガイドブック・シラバス」又はCSCDウェブサイト (前掲) を参照してください。

#### 副専攻・高度副プログラム (公共圏における科学技術政策)

■ CSCDでは、平成25年度から大学院生を対象に、「科学技術の倫理的・法的・社会的問題 (ELSI) に関する研究を基盤として公共的関与の活動と分析を行い、学問諸分野間ならびに学問と政策・社会の間を「つなぐ」ことを通じて政策形成に寄与できる人材」の育成を目指した副専攻・高度副プログラム「公共圏における科学技術政策」を実施しています。

なお、受講者が多数の場合は、選考の上、受講生を決定します。プログラムの詳細については、「副専攻/高度副プログラム「公共圏における科学技術政策」履修ガイドブック・シラバス」又はCSCDウェブサイト (前掲) を参照してください。